

# 麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

57

平成25年  
10月10日発行

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital

## 認定看護師資格取得について

当院では認定看護師資格取得のために、3年前に支援制度を制定し全面的な支援を行っています。当支援制度は、毎年、職員公募を行い選考委員会にて1名を選出し、理事長の推薦を受けます。推薦を得た職員は、就学期間中の身分・賃金保障や就学費用の補助など、キャリアを中断することなく就学することが可能です。

認定看護師は、日本看護協会が策定した資格認定制度の一つです。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指し、高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりと看護の質の向上を目的としています。

認定看護師の役割は、これら特定分野において、①個人、家族および集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践すること、②看護実践を通して看護職に対し指導を行うこと、③看護職に対しコンサルテーションを行うこと、と定義されています。

今年は7月4日付で、本支援制度を利用して、脳卒中リハビリテーション看護分野に1名、摂食・嚥下障害看護分野に1名、計2名の認定看護師が誕生しました。



認定看護師の誕生は、看護の質の向上に繋がることはもちろん、積極的にチーム医療においても部署を越えた活動を行うほか、院内外の専門分野における教育や連携にも一役を担うものと考えております。そして、何より安全・安心な質の高い医療の提供に貢献してくれるものと考えております。

文責 院長 沖 修一

### もくじ

- 1 認定看護師資格取得について
- 2 認定看護師のご紹介
- 3 看護部の紹介
- 4 学会発表のご報告
- 院内における防災医療ガス委員の取り組み
- 5 連携医療機関のご紹介 —— 医療法人社団小林内科胃腸科医院 ——



# 認定看護師のご紹介



認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定審査に合格した、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識があると認められた看護師です。

看護師免許取得後の実務が5年以上必要であり、さらに6か月の認定看護師教育課程を修了しなければなりません。

認定看護師は、看護の現場で高度な看護実践を提供するほか、スタッフへの指導、相談に対応することにより、看護ケアの広がりと質の向上をはかる役割を担います。



## 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 木村 泰祥

脳卒中は突然発症することが多く、一旦発症すると患者とその家族は今までの生活スタイルやライフスタイルの変更を余儀なくされる病気です。また、様々な社会資源を利用しながらその後の生活や再発予防をしていかなければならなくなるため、専門的な知識や技術が必要になり、その後の生活に対する不安が大きくなります。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師とは、恐ろしい脳卒中の発症直後から重篤化を予防し、その後の生活再構築に向けた機能回復・維持を行いながら、患者とその家族へ必要な情報提供や相談・他職種との調整を行っていく専門職です。

脳卒中発症後、少しでも不安なく快適な生活を送れるようお手伝いさせて頂きます。



## 摂食・嚥下障害看護師 石田 敬子

摂食・嚥下障害とは“食べる能力”に広く関わる障害です。患者さんの摂食・嚥下機能を評価し、誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防に努めるケアを実施、また適切で安全な摂食・嚥下訓練の選択や実施などが、摂食・嚥下障害看護分野の認定看護師の役割になります。

「口から食べたい」という嚥下障害のある患者さんや「何とか口から食べさせたい」というご家族の思いに応えていけるよう、多職種のスタッフと協力し、知識や実践経験を積みながら、一人でも多くの患者さんの希望をかなえるお手伝いをさせていただきたいと思っております。



## 当院では以下の資格取得を応援しています。

- ①救急看護 ②皮膚・排泄ケア ③集中ケア ④感染管理 ⑤手術看護
- ⑥小児救急看護 ⑦認知症看護 ⑧脳卒中リハビリテーション ⑨摂食・嚥下障害

# 看護部の紹介



看護部は、看護師70名、准看護師18名、看護補助者19名、歯科衛生士2名と総勢127名の院内では、一番人数の多い部署となります。急性期病棟では、7対1看護配置及び、25対1急性期看護補助体制を維持し、手厚い看護を実施しております。「全ては患者さんのために」を基本に、患者さん中心の優しく安全で信頼される看護を目指し、院内の他職種との連携を強め、チーム医療に積極的に取り組んでいます。



外来は、救急外来、手術室の業務を行っています。脳外科は緊急患者が多く、家族の不安はとても強いものがあります。大変な時期に関わる外来看護師は患者さんことを第一に考え、日々笑顔を忘れず頑張っています。

2階病棟は21床で、ICU4床・HCU7床・亜急性期病床10床で構成されている病棟です。手術後や脳梗塞発症後の患者、重症患者の看護にあたっています。亜急性期病床では、個別性のある退院支援・退院指導を行っています。患者様やご家族に安心していただけるよう、これからも頑張っていきます。



3階病棟は、急性期の患者さんが入院される47床の病棟です。脳卒中は早期発見、早期治療がとても重要です。安全で迅速、的確な判断が求められる看護師の役割の大きさを感じつつ、日々研鑽に励んでいます。多職種と、患者さんの症状経過に沿ってカンファレンスを行い、患者さんの安全な入院生活と早期離床を支援し、早期社会復帰を目指しています。また、開放病床として、地域の医療機関と共同診療にも取り組んでいます。他部署と連携しながら、よりよいチーム医療を提供できるように努力していきます。

4階病棟は、急性期治療を終了され、より積極的なリハビリテーションを行う患者さんが入院される42床の回復期リハビリテーション病棟です。在宅復帰・社会復帰をめざし、より日常生活に近い生活ができるよう支援させていただいている。私たち看護スタッフは、医師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーと協力し、入院患者の皆様のリハビリテーションが効果的に進み、早期退院に繋がるよう援助させていただいている。



文責：看護部長 島田節子

# 学会発表の ご報告

当院が5月～7月に全国規模の学会で発表した演題をご報告いたします。  
今後も医療の質向上を目指して、職員一同学術活動を通して、  
スキルアップを図っていきたいと思います。



<b>第48回日本理学療法学術大会</b> ◆5月24～26日 ◆名古屋国際会議場	「神経幹/前駆細胞移植後のリハビリテーションによる 脳内変化の検討」	リハビリテーション部 理学療法士 猪村 剛史
	「脳卒中後の機能回復過程における運動神経線維の経時的変化 ～拡散テンソルtractographyによる検討～」	リハビリテーション部 理学療法士 長澤 由季
<b>日本訪問リハビリテーション協会 第2回学術大会</b> ◆6月8～9日 ◆まつもと市民芸術館	「当院訪問リハビリテーション利用者の休止理由から 予測されるリスク管理」	リハビリテーション部 理学療法士 中原 幸恵
<b>第15回 日本医療マネジメント学会学術総会</b> ◆6月14～15日 ◆盛岡市民文化ホール・ いわて県民情報交流センター	「脳神経外科急性期病棟における転倒転落の分析」	看護部 2階病棟看護主任 中村 友香
<b>第63回日本病院学会</b> ◆6月27～28日 ◆朱鷺メッセ・ホテル日航新潟	「脳卒中患者・家族への退院支援」	看護部 2階病棟看護師 吉本 智子
	「当院における急性期脳血管障害に対する 早期リハビリテーションの効果」	リハビリテーション部 理学療法士副主任 清水 真宏
	「回復期リハビリテーション病棟における 情報共有ツールの運用と今後の課題」	リハビリテーション部 作業療法士 藤原 明子
	「当院における言語聴覚士と歯科衛生士の連携 (早期に経口移行が可能となった症例)」	リハビリテーション部 言語聴覚士 沖元 曜
	「介護分野との連携について～介護支援連携指導を通しての考察」	地域連携室 ソーシャルワーカー 土肥真由美
<b>第16回 日本病院脳神経外科学会</b> ◆7月20～21日 ◆福山ニューキャッスルホテル ◆広島県民文化センターふくやま	「インターネットを利用した地域連携の試みと問題点」	診療部 病院長 沖 修一
	「当院での脳卒中急性期治療におけるチーム医療の効果に関する検討」	診療部 副院長 江本 克也
	「脳血管障害患者の誤嚥性肺炎に対する看護師の口腔ケア効果」	看護部 2階病棟看護師 佐藤 理恵
	「脳卒中患者・家族への退院支援」	看護部 2階病棟看護師 宮田 奈々
	「エタラボンの腎機能別使用状況と腎機能の推移」	薬剤部 薬剤部長 松下永利子
	「当院における摂食嚥下チームの取り組み」	リハビリテーション部 言語聴覚士副主任 辻 法子
	「当院における急性期から維持期までの一貫した装具療法の取り組み ～脳膿瘍により左片麻痺を呈した症例を通して～」	リハビリテーション部 理学療法士 石井 孝幸
	「訪問リハビリテーションへの連携により退院直後の 生活危機を脱した症例～重度要介護者の退院支援～」	リハビリテーション部 作業療法士 宮原 瑞貴
	「AVFに対するi-flowの有用性」	検査部診療放射線科 放射線技師主任 安部 昌弘
	「回復期リハビリテーション病棟における退院先に関する因子の分析」	地域連携室 ソーシャルワーカー 漆谷 恵美

## 院内における防災医療ガス委員の取り組み

当院には災害発生時、人命の安全並びに被害の極限防止のために活動する防災医療ガス管理委員会があります。年に2回自衛防災訓練を行い、広島市の防災宿泊研修に毎年参加します。研修では、煙の中を抜け、避難器具を使い建物から地上に降りる訓練。消化器や消火栓を用いた初期消火訓練。訓練参加者が就寝後、火災報知機の音で目覚めてからの訓練など。また、疑似地震も体験します。このような技術と知識を学び、いざというときに患者様と職員の安全が守れるよう、取り組みを続けます。

文責 薬剤部 松下永利子





## 医療法人社団 小林内科胃腸科医院

住 所：〒733-0821

広島市西区庚午北2丁目18-12

T E L : 082-271-1250

F A X : 082-271-1664

診療科：内科、胃腸科、消化器科、循環器科

院 長：小林 邦彦

副院長：小林 隆彦



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
15:00~18:00	●	●	●	/	●	/

\*休診日／木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

### ■ 医療法人社団小林内科胃腸科医院の沿革

当院は昭和52年4月に「小林内科胃腸科医院」として開院し、平成6年1月に「医療法人社団小林内科胃腸科医院」となって現在に至ります。平成22年に、現在地で旧医院を取り壊し新築致しました。

### ■ 当医院の理念・特徴

地区のかかりつけ医として、外来診療はもとより在宅医療も積極的に行い、地域の皆様の健康に携わりたいと考えます。又、平成24年から開始された機能強化型在宅支援診療所としては、荒木脳神経外科病院と、又近隣の先生方とも連携して、在宅支援連携体制も構築させていただいております。

### ■ 荒木脳神経外科病院との繋がり

荒木脳神経外科病院が設立された当初より頭蓋内疾患を主体にして外来への紹介或いは救急紹介などお世話になっておりました。又、荒木脳神経外科病院画像センター設立後は、各種画像検査・診断面においても同様にサポートをしていただいております。さらに機能強化型在宅診療システムの開始以降では、スムースな在宅患者の受け入れ・入院など、より一層緊密な対応をさせていただいております。これからも、地域医療のためにこれまで通りの連携をお願いしたいと思っております。



## 医療法人光臨会 理念

一、皆様に安心していただける、  
全人的な医療と介護を目指します

## 荒木脳神経外科病院 理念

一、脳神経外科としての専門性を軸に、  
幅広い診療体制で地域医療に貢献します  
一、急性期医療の中核病院として、  
高機能で質の高いチーム医療を行います

## 運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

## 患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が  
次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

## 患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報と正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



## 外来担当医表

		月	火	水	木	金	土	診察時間
脳神経外科	午前	初診(1診) 医長 谷	診療部長山崎	診療部長加納	院長 沖	副院長江本	広大	◆完全予約制 午前 9時～12時 (初診受付:午前 11時30分迄)
	再診(2診)	副院長江本	院長 沖	太田	診療部長山崎	太田	医長 谷	午後 3時～6時 (初診受付:午後 5時30分迄)
	午後	初・再診(1診) 診療部長加納	医長 谷	広大	副院長 鮎川	診療部長加納	広大	救急は 24 時間受け付けております
脳神経内科	午前	4 診			青木			
総合診療 (内科・外科)	午前	3 診	診療部長野村	診療部長藤井	診療部長野村	診療部長藤井	診療部長野村	診療部長渡辺
	午後	3 診	診療部長渡辺	診療部長渡辺	診療部長渡辺	診療部長野村	診療部長渡辺	診療部長野村
	午前		渡辺 (検査日)		渡辺 (検査日)	野村 (検査日)	渡辺 (検査日)	
	午後			野村 (検査日)				
外 科	午前	4 診	診療部長藤井				診療部長藤井	
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5 診		副院長江本	北野病院(形成) ※平本	理事長荒木 (再診)		井上

※形成外科  
平本先生(北野病院 形成外科)  
第2水曜日 毎月1回  
※井上名誉教授  
第2・4土曜日 毎月2回

## 医療法人光臨会



## 荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7  
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048  
E-mail info@arakihp.jp  
ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

## 荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7  
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

## 荒木クリニック 通所リハビリテーション

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15  
TEL 082-507-6100

## あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15  
TEL 082-507-6600

## 荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目1-4-201  
TEL 082-507-6300

## 案内図



## 交通案内

## ○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より  
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分  
○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前

## お知らせ

11月3日(日)広島サンプラザおよび西部埋立第五公園にて広島西区民祭りが行われます。  
去年に続き今年も当院も参加いたしますので、是非足を運んで下さい。